

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援HAPPY WORKS清武校		公表日		令和 7年 3月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		動く活動を行う際にはテーブル等は端に寄せるなどしてより広く安全に使用できるよう配慮している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1		個別対応が必要なお子様が多い利用日については基準を満たしていても職員が必要な場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		職員で話し合い、必要な物や構造化が進められるように取り組んでおります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日々の清掃や、感染症対策として噴霧器による空間除菌を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個別課題への取り組み時や、クールダウンの為にメインの訓練室以外にも個別の室内を使用するようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		日々ミーティングを行い、活動や支援の振り返りを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表を集計後、職員で共有し改善に向け取り組みるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			日々のミーティングの他にも1on1ミーティングを行っているが、できていないこともあるため改善したい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的に法人内の全職員で研修を行うようにしております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	3		R7年4月より公表されるため、ご確認ください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		計画更新の為に面談の他にも事業所見学や事業所内相談を行ったり、職員間でも子供の様子の聞き取りを行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画立案時に共有してから支援が開始できるようにしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		毎月次月の活動についての話し合いを行っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		活動の話し合いの際や日々のミーティングなどで活動についての考案やアイデアが得られるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個々の様子に合わせて、職員間で話し合うなどして個別活動も取り入れられるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼時に一日の流れの確認や配慮事項の確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		活動や支援の振り返りを行い、次の日以降の支援に活かせるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日欠かさず支援記録の記入を行い、保育園との連絡会を行った場合も記録をしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		お子様が利用開始後も必要に応じて保健師への相談をしたり、障がい福祉課への相談等を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保育園との並行利用や移行に向けた動きについては十分に会議などで伝達を行っております。また、保育園での様子を見学させて頂く機会も定期的に取り入れております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		小学校からの要望があった際に連絡会に参加させていただいております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	センターとの連携は十分にとれているとは思いますが、児童発達支援連絡協議会に参加して情報を得られるようにしております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		交流ができていないため、次年度以降取り組めるようにしていきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		連絡帳やLINE等を使って日々の様子を伝えられるようにしております。今後もこまめな情報共有ができればと思います。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明し、質問等があれば答えられるようにしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		支援計画の立案についてはご家庭や事業所での様子を知り、ニーズなども取り入れて立案するよう取り組んでおります。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		面談だけでなく、連絡帳でも相談を受け、助言を行っている。	今後も保護者とこまめに情報共有ができるようにしていきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	父母の会はないが、保護者参加型の行事を行っているため、そちらでも保護者同士の交流ができればと思います	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		口頭や連絡帳、LINEなどで相談があった際には、職員で共有し、検討をして返事しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月通信を発行しております。また、インスタグラムも更新しますのでそちらも見ればと思います。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		業務で知り得た情報を漏らさないよう十分に配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		なるべく理解が得られるように視覚的に有効な物を使用したり、こまめに確認しながら話がすすめるように配慮している、	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		地域の方を招待する行事の企画はありませんが、機会があればしてみたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	施設見学時や契約時に服薬の確認を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		現在アレルギーのあるお子様は利用していないので行っていませんが、今後対応が必要になった場合は十分に配慮していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		外部での虐待防止研修に参加し、社内で研修を行い周知できるようにしております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		虐待防止研修にて職員に周知できるようにしております。		